

## 北海道千歳市でリーサスを活用した政策立案ワークショップを開催しました

令和2年6月  
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局  
内閣府地方創生推進室  
経済産業省北海道経済産業局

北海道千歳市にて、地方創生や産業政策に携わる職員等を中心に、「地域経済分析システム（RESAS）」を活用した政策立案ワークショップを下記のとおり開催しました。

「『市街地活性化』の戦略技法の研究」の専門家である中央大学名誉教授 細野氏の協力を得て、「人口増加を続けるために～関係人口・交流人口の拡大に向けた産業振興・情報発信～」をテーマに議論を行いました。

市職員による分析発表や参加者の意見交換を通じて、千歳市の人口や経済面等の課題に関して認識を共有するとともに、「人口増加を続ける街」の実現に向けた施策のあり方を考える機会となりました。

### 記

1. テーマ：人口増加を続けるために～関係人口・交流人口の拡大に向けた産業振興・情報発信～
2. 日 時：令和2年2月19日（水） 15時00分～17時30分
3. 会 場：千歳市民文化センター大会議室
4. 主 催：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局  
内閣府地方創生推進室  
経済産業省北海道経済産業局
5. 参加者：計41名
  - ・金融機関（北洋銀行、北海道銀行、北央信用組合、北海道信用金庫、苫小牧信用金庫、北門信用金庫、北海道労働金庫）12名
  - ・千歳商工会議所 会頭 入口 博美氏
  - ・一般社団法人千歳観光連盟 代表理事 会長 勝俣 克廣氏
  - ・千歳市商店街振興組合連合会 事務局次長 藤本 吉章氏
  - ・支笏湖旅館組合 組合長 佐々木 義朗氏
  - ・千歳の観光を考える会 太田 康裕氏、鈴木 靖彦氏
  - ・公立千歳科学技術大学 地域連携センター長 山林 由明氏
  - ・千歳市総合戦略推進市民会議 座長 大越 研人氏
  - ・千歳市（副市長、企画部長、観光スポーツ部長 ほか6名）

- ・中央大学 名誉教授 細野 助博氏
- ・内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）2名
- ・経済産業省（地域経済産業調査室、北海道経済産業局）9名

## 6. 議事次第

### ① プレゼンテーション1（千歳市）

人口増加を続けるために～関係人口・交流人口の拡大に向けた産業振興・情報発信～

### ② プレゼンテーション2（有識者）

選ばれるまちへの戦略

### ③ 意見交換会

#### 1. ワークショップ実施の背景

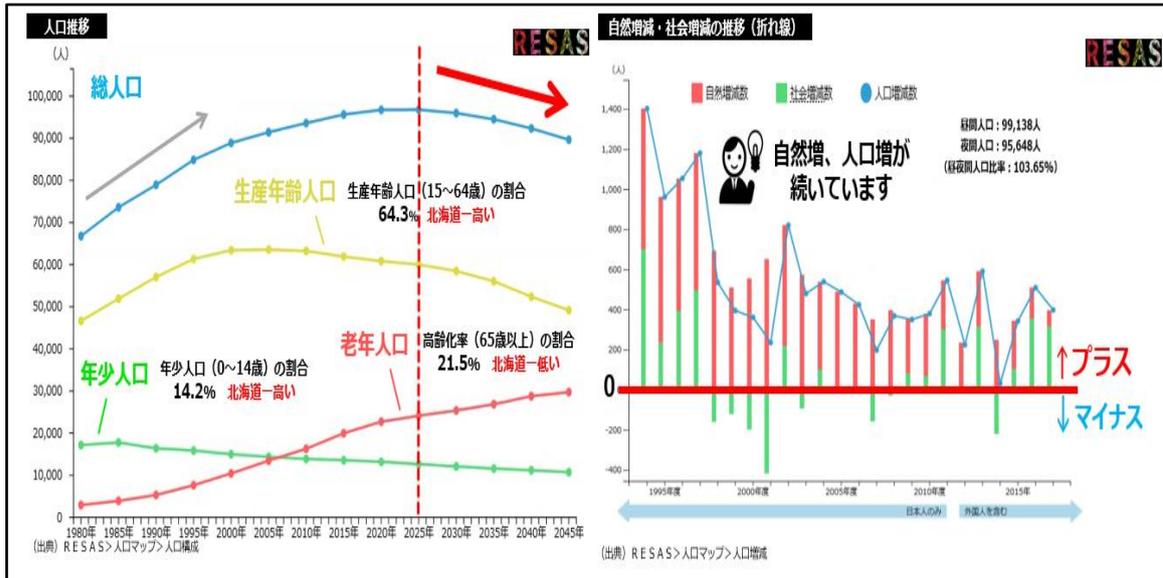
- 千歳市は、北海道の空の玄関口としての新千歳空港があり、40年以上連続して人口増加を続け、平均年齢が道内で最も若いという特徴を持った都市。
- 一方、今後の人口減少を見据え、課題である情報発信を強化して観光を中心とした産業振興を図り、関係人口・交流人口の拡充に繋げ人口増加を続けていきたい。
- そこで、地域経済分析システム（リーサス）などを活用して、同市の現状分析や課題抽出を行うとともに、地域関係者が一体となって、これらの課題に立ち向かう取組について意見交換を実施。

#### 2. 分析手法

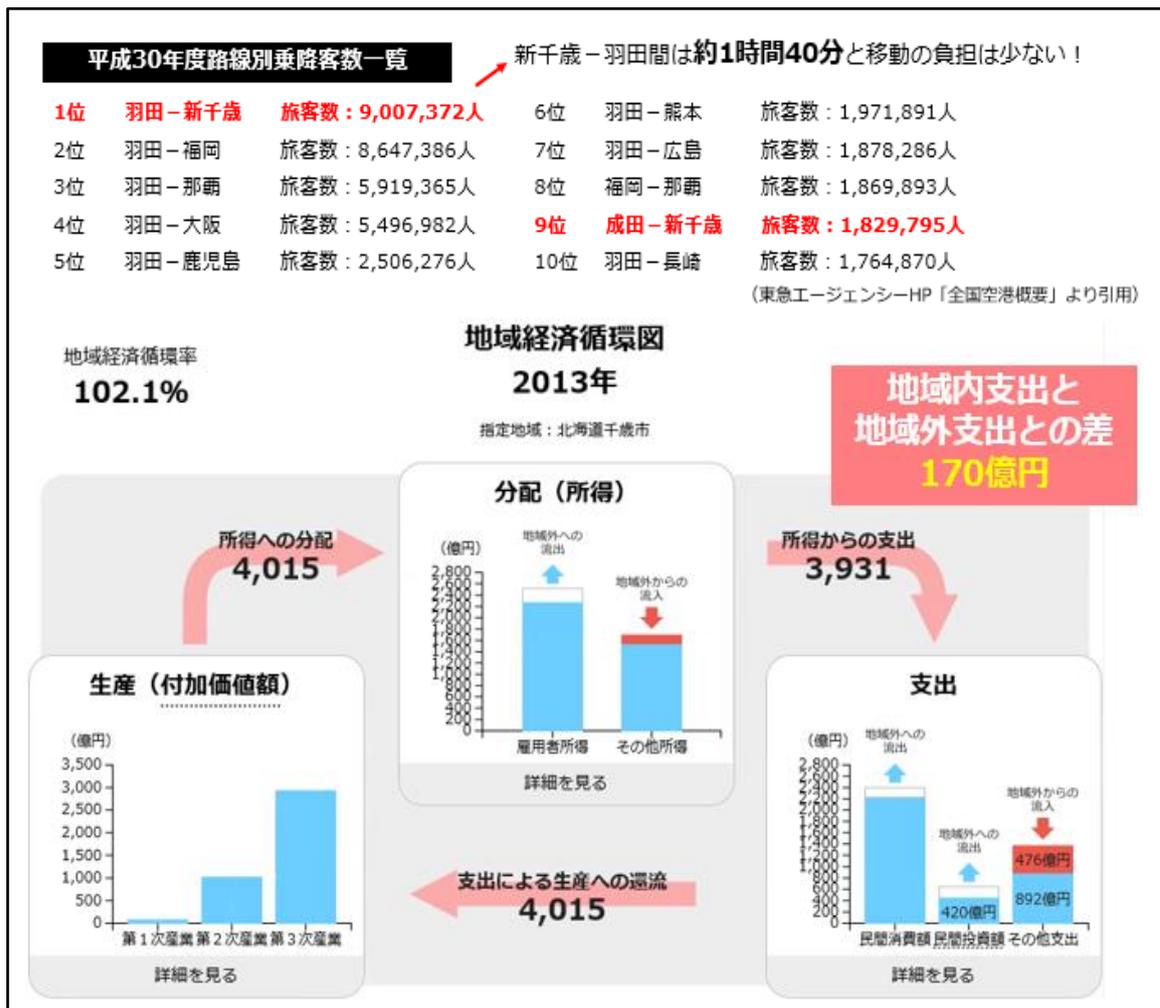
- RESAS を用いて人口推移、自然増減・社会増減の推移から、市の人口構成や人口減の内訳を把握。
- 地域経済循環分析から、地域内支出と地域外支出との差を把握。
- 北海道観光入込客数調査報告書等より観光入込客数の推移、市内日帰り客と宿泊客数の推移等を把握。
- 上記分析から、人口増加を続けていくための課題を抽出し、政策アイデアコンテストを基にした提案および関係人口創出に向けた取組を紹介。

#### 3. 千歳市の人口増加を続けるための課題と分析

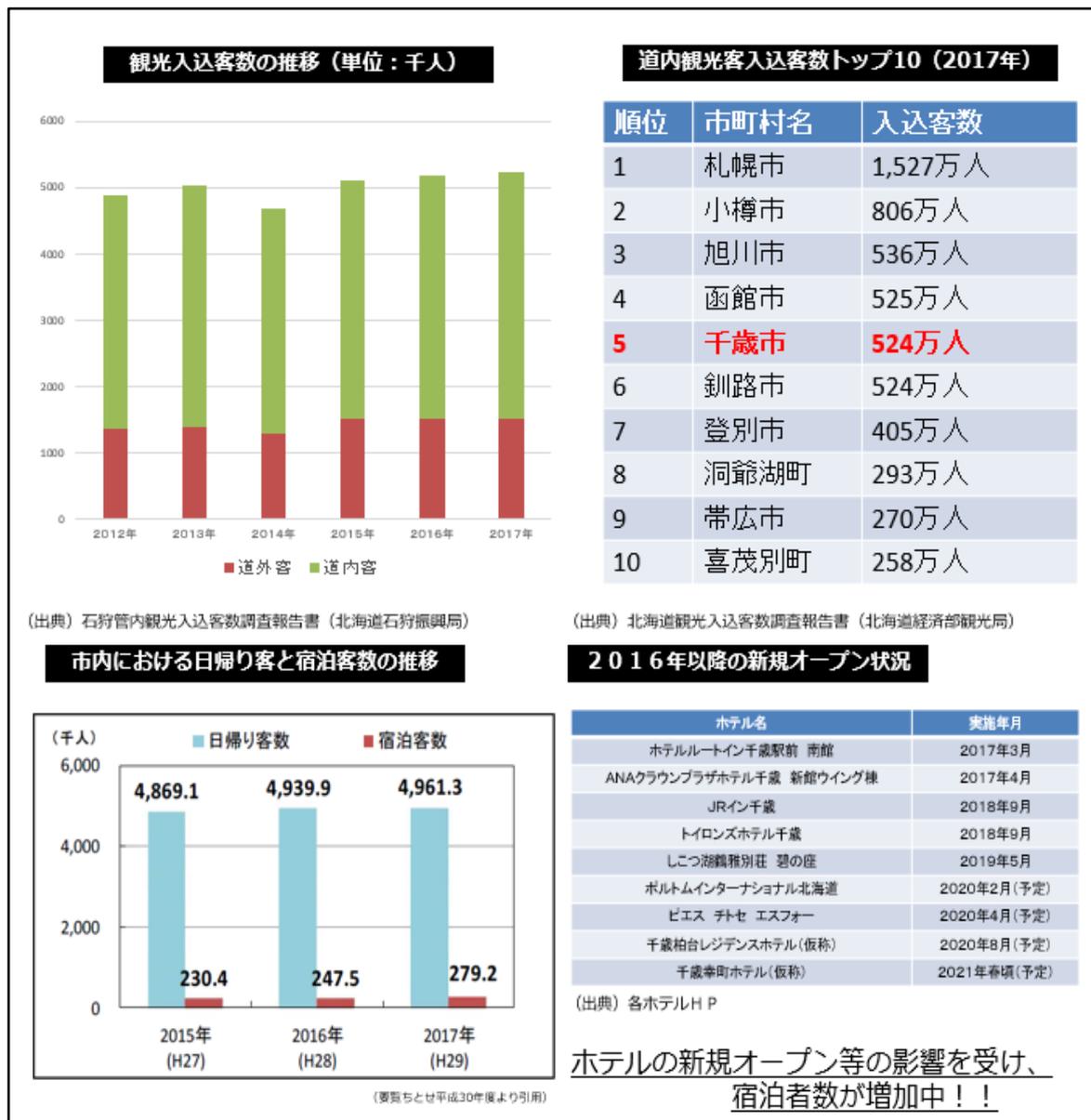
- 千歳市は、40年以上連続して人口増加を続け、新千歳空港（羽田空港と片道約1時間40分）が立地している空港の街であり、全道で初めて私大を公立化するなど人材育成に力を入れており、平均年齢が道内で最も若い・高齢化率の割合が道内で最も低い・年少人口の割合が道内で最も高いという特徴を有しているが、今後は人口減少・高齢化が進むなど、現在有する特徴が無くなってしまふ恐れがある。



- 北海道の玄関口である新千歳空港があり、乗降客数は増加傾向、羽田-新千歳の乗降客数が1位(平成30年度)と空港都市という特色があるが、観光客等の市内消費は盛んとは言えず市外へ流出している。



- 観光入込客数は増加しており道内でも上位にランクイン。近年ホテルの新規オープンの影響もあり宿泊者数は増加しているが、日帰り客数と比べると圧倒的に少なく、通過型のまちとなっている。



## 4. 解決策

### <千歳市からの提案>

- 地方創生☆政策アイデアコンテストで発表した2つのアイデアを紹介。

(1) HANASAKA PROJECT

アイデア HANASAKA PROJECT

■ターゲット

・千歳市に興味を持つ市内外居住者



- 92.0% 10代~40代の平均利用率が
  - 54.6% 90%以上のSNSがあるなど、**利用率が高い!**
  - 37.7%
  - 50.3%
- 総務省情報通信政策研究所発行  
H30「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より算出

■具体的な施策

SNS一括配信サービスの構築により、

- ・千歳市の良いところを各SNSに一括投稿 (抽選で当たる商品のPR情報を自動で付加)
- ・投稿者は抽選で商品を受領 (1投稿に対し投稿SNS数に応じて応募数が増加)

情報発信源が**市民**や**観光客**になり、商品当選者の投稿を再アップで**情報量が倍!**  
自治体運営の**安心感**、**空港**や**市内商業施設**を巻き込んだ**PR**により参加者が増加!

- ・まちの情報発信の**主役は市民や観光客**です!
- ・**実感を持った情報の発信**が可能となります!

20

アイデア HANASAKA PROJECT

■利用者フロー

①HPやアプリでアクセスし、保有するアカウントを登録

→各SNSへ一括で投稿することが可能に!



②抽選で当たるほしい商品を選択

→市と企業が連携します



③“日常にある”千歳市の良いところや写真を各SNSへ一括配信

→抽選で当たる商品のPR情報が自動で付加されます

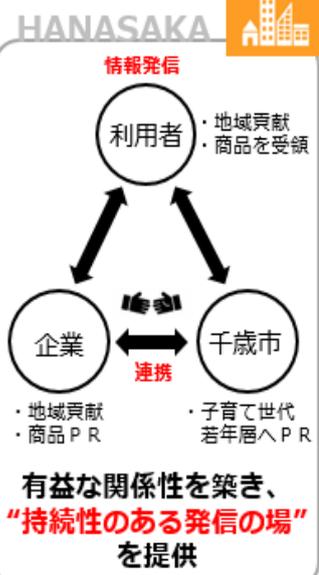
#隣の家のおばあちゃんがうちの息子にバナナくれた  
#うれしい  
#優しい  
#千歳市

#カ○ビーは  
#じゃが○ックルで  
#千歳市を応援しています

※自動で付加される情報

④抽選で商品を受領! →1投稿あたりの投稿SNS数に応じた応募数

■関係性



千歳に“住んでいる”、“訪れる”**みんながPR大使!**  
市内外に向けて効果的なPRが可能!

21

(2) JINKO SHARE PROJECT

## アイデア JINKO SHARE PROJECT

**■ システム概要**

北海道の玄関として千歳市が  
チェックイン・チェックアウト  
機能を担う

利用者

8 観光がもたらす経済成長

17 パートナシップで目標を達成しよう

※サブスクリプション制とは、定額制で期間内であれば自由にサービスを受けられるシステム

**サブスクリプション制で  
検索・予約・決済が可能なシステム**

**ホテル**

- 道内ホテルの宿泊が自由
- 1都市1泊以上を条件
- 部屋のランクで料金体系が変動

**イベント**

- 回遊コースの提案あり
- 観光から体験学習まで様々なイベント

**移動手段**

- MaaSにより、様々な移動手段が利用可能
- 自転車
- レンタカー
- バス
- 鉄道 など

※MaaSとは、様々な種類の交通サービスを統合して検索・予約・決済などを可能にするサービス

**千歳市を中心に北海道全体を一つのホテルにする！** 24

---

## アイデア JINKO SHARE PROJECT

**■ 事業効果**

8 観光がもたらす経済成長

17 パートナシップで目標を達成しよう

自治体

- 千歳市のみならず北海道全体を対象とした消費促進
- 千歳市は旅の「始まり」と「終わり」の滞在で消費が2倍

**⇒ 通過型のまちからの脱却、さらに市内消費の促進へ**

民間事業者

- ホテルやレンタカー事業者等は、稼働率が落ちる平日の予約を安定的に見込むことができる。(空室対策)

**⇒ 関係人口増加により、雇用創出へ**

利用者

- 予約を一括して行うことができ、利便性が高い。
- 長期的な予約となるため、料金が安い。

**⇒ 自由なライフスタイルを送ることが可能**

**サブスクリプション制の滞在システムで“交流人口をシェア”し  
千歳市から北海道全体の消費促進を図ります！**

将来的には全国の空港のあるまちと連携して全国展開へ！ 25

6

#### <有識者からの意見>

- データで重要なのは人口（需要・供給・未来）。北海道は札幌一極化のため二番手三番手都市の底上げが必要。選ばれるにはまちの魅力発見が必要。
- 千歳の観光にとって大事なことは空港と高付加価値なツーリズムである。高付加価値なツーリズムの創出にはキラークンテンツが重要であり、その創出は戦略に基づいたものでないとならない。戦略を練るにあたり、データ分析は重要。
- 千歳市の強みは札幌市に次いで人口が増えているという点だが、15～29歳の女性人口の減少が続いている。人口増加にはこの年代の女性に選ばれる（定住してもらえ）街づくりをする必要がある。女性に選ばれる街づくりには、女性の働き口となるサービス関連業の増強と、柔軟な働き方が出来る環境作りが重要。
- サービス関連業という点について、千歳市は『新千歳空港』という大きな武器があり、ポテンシャルは高い。今後は、データ分析に基づいた適確な戦略を練り、利活用出来るかが課題。
- 若者の企業への受入体制を企業側と大学側双方が整えることが必要。
- 若者の遊ぶ施設がないのであれば、受け身ではなく自分達の手で作りだせばいいのではないか。

#### <意見交換会から出た主な意見>

- 千歳市のキャッチフレーズである「空の玄関」「北の玄関口」という言葉について、玄関＝通過する・滞在しないというイメージになるため、言葉を変えて情報発信をした方が新しい発想にも繋がり良いと思う。
- 自社のホテルや施設だけではなく、千歳全体で観光を盛り上げていくことが必要。観光の概念について、自然や温泉だけではなく、歴史をキーワードとして取り組むことも必要。
- 新千歳空港からの2次交通が重要。市内無料循環バスを活用するのも一手。
- 観光を中心としたサービス業の人手不足に留学生が一役を担い、またその留学生が母国に対し千歳の魅力を SNS 等で発信することで、観光客の誘致に繋がるのではないか。

- 市内に宿泊するインバウンドの観光客をどうやって消費してもらうかが課題。イルミネーションや屋台村など、外出機会をより多くするイベントが必要。
- 千歳科学技術大学は公立化に伴い道外からの学生が増加しているが、市内で遊べるレジャー施設が少なく、魅力発信のためにも若者が遊べる施設を増やすべき。
- 千歳市の近隣の観光スポットにも目を向けて、観光客が千歳市内に宿泊してもらうプランを考えるのもありではないか。
- 空港民営化による大規模投資は、雇用増加→付加価値増加→企業数増加という好循環に繋がる他に類を見ない一大チャンスであり、千歳は空港のまちであるという点を強調してPRするべき。
- キャッシュレス化により交通系の決済ニーズが高まっていること、旅行の形態が団体から個人にシフトしていることから、「JINKO SHARE PROJECT」は非常に有意義な施策と考える。
- 公立千歳科学技術大学では、地域の魅力を発見する目的でフィールドワークとして「千歳学」を開始。学生を市内企業へ就職する活動を積極的に行い、地域貢献に根ざした取組を行っている。

#### 5. 施策提案：様々な主体の意見を踏まえ、より効果的な政策へ

- 千歳市としては、人口10万人の目標を達成するために、住環境の充実、仕事作り、昼間人口を定住人口へ繋げる取組を実施している。今後テレワークとワーケーションを強化し、関係人口創出に繋げていく方針。
- 議論の中にもあった若者の遊ぶ施設がないというのは、市民アンケートでも多数意見があり市としても課題として認識。7空港一括民間委託による投資効果を市全体に波及させ、民間事業者と協働で取り組んでいくことが必要。
- 今回のワークショップにより、市内の産学官による問題意識の共有と課題解決に向けた連携の必要性を確認。今後も継続的に関係者による議論を続けて行くことにより、地域の強みを活かした政策の実現を図ることとしている。